



子どもレスリングキャンプ 2015 夏
いっしょのじー

子どもリフレッシュキャンプ 2015 夏

キャンプスケジュール



1日のスケジュール



7:00
起床

体調チェック



合唱

ラジオ体操



7:30
朝食



9:00
掃除



9:30
宿題



フリータイム



12:00
昼食



17:00
お風呂



19:00
夕食



日記



21:00
就寝



選択プログラム 〈海組 in 美浜町・佐久島〉

8月7日（金）/8日（土）/9日（日）

愛知県にある美浜町と佐久島で楽しい企画が目白押し！

この3日間のプログラムの実施には、企画準備の段階から子どもたちの“笑顔”のため、各方面の多くの方々にご協力をいただきました。

1日目は竹細工とうどん打ち体験の日。時間をかけて作ったオリジナルの竹の器で食べる、太くてコシがある手作りのうどんは格別の味です！

2日目は子どもたちが待ちにまったヨット体験の日。前日から「明日はヨットに乗れる？海に入れる？」とワクワクしていた子どもたち。ヨットに乗って佐久島を目指します。佐久島では地図を片手に大冒険をしました。

3日目はキャンプのテーマである「生命」にちなんだ体験をしました。3日間お世話になった全忠寺にて精進料理を食べ、いのちをいただいていることを知り、座禅の体験をして自分のいのちを見つめなおしました。

また、戦争についての貴重なお話を聴き、子どもたちは真剣なまなざしで話を聴き入っていました。



Photo by 笑顔の写真屋さん 桜井登也



Photo by 笑顔の写真屋さん 桜井登也





1 day

竹細工

九十九の里の方が作ってくださった竹のお皿とコップを、紙やすりできれいに磨き、より長く使うにはどうすれば良いのかを考えながら作りました。思いおもいに模様を描いてオリジナルの器の完成です。

子どもたちは「早く使いたい!」「何か入れるものないの?」と完成した作品に大満足でした。

うどん打ち体験

うどん打ちは、水と粉を混ぜるところから始めます。「おいしくな一れ!」と子どもたちの声が響きました。

こねた生地を慣れない包丁で切り、愛チカラうどんの完成です。オリジナルの竹の器に麺つゆをいれて、みんなでいただきました。

太さも長さもバラバラですが、世界で一番おいしいうどんになりました。



2 day

ヨット体験

待ちに待ったヨットに乗り、佐久島を目指します。時おり大きく揺れるヨットに驚きながらも、子どもたちは「魚が飛んだ!」「風が気持ちいいね!」と心地よい潮風に吹かれながら海の旅を楽しみました。風や波の力を使って前へ前へと進むヨットの上で立つ子どもたちは、未来に向かって確実に歩いていることを感じさせる頼もしい姿でした。

佐久島の海

三河湾に浮かぶ離島、佐久島に到着です!!

佐久島では、元気に海で泳ぐ子や海岸に落ちている貝殻を拾って集める子、釣りを楽しむ子など、子どもたち一人ひとりが思いおもいに海を楽しみました。

海水の塩っぱさや、浜の砂に触れ、大自然を肌で感じながら、真っ赤に日焼けをしたヒリヒリの肌も、心地よい夏の思い出です。



Photo by 笑顔の写真屋さん 桜井登也



3 day

全忠寺での座禅体験

精進料理をいただき、ご住職から“食べ物をいただく”ということについてお話を聴きました。そして、わずかな時間、座禅を組み自分と向き合う静穏な時間を過ごしました。

また、地元の小学校の校長先生から戦争についてのお話を聴きました。

70年前に起きた戦争によってたくさんの命が奪われてしまったことを聴き、子どもたちは、今回のテーマである「生命」の大切さを考えるきっかけとなりました。



選択プログラム 〈山組 in 渡合ランプ村〉

8月7日(金) / 8日(土) / 9日(日)



渡合ランプ村は360度見渡す限り緑に囲まれた山の中にあります。電気や水道が通っていないので、電気の代わりにランプを使い、水道の代わりに川からポンプで水を汲みあげます。

子どもたちからは「お手伝いするー!」といった声がよく聞こえ、その様子は、どこか誇らしげでした。

大自然を活かしたネイチャービンゴでは、班で協力しながら木や草花など、自然のものを使ったミッションに挑戦します。子どもたちは、ザラザラした木の皮や湿った葉を触り、自然を身近に知ることができました。

滝底が見える冷たい水での川遊びでは、ボートに乗ったり、泳いだり、滝の勢いに負けなくらい、大自然の中で元気いっぱい体を動かすことができました。

いつでも明るく光る電気や、蛇口をひねればきれいな水が流れてくる普段の生活から離れ、限られた自然のエネルギーを使い生活することで、自然と共に生きているということ学ぶことができた貴重な3日間となりました。



RAFTING OF FIELD DAY

8月4日 (火)



岩から Jump!!



ボートの滑り台~

岐阜県郡上市を流れる日本三大清流の長良川にて、ラフティングとシャワークライミングを行いました。

ラフティングでは、激しい流れの中をみんなで協力し、パドルを使ってボートを漕ぎ、ボートから落ちないように川を下っていきます。

シャワークライミングでは、綺麗な川に身を任せ、泳いで、潜って、飛び込んでゴール地点を目指しました！

天然のウォータースライダーや大きな岩のジャンプ台など、自然が生みだした環境で、この時にしかできない体験を、全身で楽しんでいました！



SHOWER CLIMBING OF EARTH SHIP



自然のシャワー



きれいな川の探検！



ぐるぐるマーケット

6月26日～28日に開催された「ぐるぐるマーケット」の売上 276,770円 を全額愛チカラにご寄付いただきました。ご協力いただきました作家の皆さまありがとうございました。

8月6日(木) / 8月11日(火)

さをり織りと工作プログラムでは、ぐるぐるマーケットでお世話になっている作家さんにキャンプ場へお越しいただきました。

さをり織りで、子どもたちが作る、様々な色や太さの糸が組み合わされた作品はその子らしさが溢れる、とても素敵なものになりました。

子どもたちは「完成したら、お母さんにあげるの!」「去年の作品とつなげて長くするんだ!」と大切な人を想い、糸と糸を紡いでいました。

工作プログラムでは、段ボールで作る時計と迷路を選択し、段ボール工作の魅力を学びました。

時計を選んだ子は、段ボールとボタンを組み合わせカラー段ボールで飾り付けをしました。

迷路を選んだ子は、段ボールをうまく利用してカーブを作ったり、コースを拡大し、それぞれで工夫をしていました。

出来上がった作品は、どれも子どもたちの個性が詰まった作品になりました。

覚王山アパート branco
浅見 友美 様



大阪にいたころにやっていた、もの作りの作家さんのB品たちを集めたチャリティーマーケットの話をマナマナさんにさせてもらったのがきっかけで、愛チカラを紹介してもらいました。

そして、その作家自らがキャンプに出向き、作ることの楽しさと、こういう仕事もあるんだよってことを子どもたちに知ってもらいたいという思いで関わらせていただいています。

自分で生きていく力を身につけるサポート、わたしも微力ですが、サポートし続けていこうと思っています。

スペシャルプログラム

釣り体験



8月5日(水) / 10日(月)

きれいな水が流れる岐阜の川での釣り体験は、いつも子どもたちに大人気の企画です。

釣り名人から、餌のつけ方や、魚を竿に引き寄せるコツなどたくさんのお話を教えていただきました。高学年が低学年に釣り竿を譲ってあげるなど、相手を思いやる気持ちをもって釣り体験をすることができました。

釣った魚は持ち帰ってみんなでおいしくいただきました。

福島では今もなお、自然な環境で育った魚を釣ったり、その魚を食べたりすることはできません。子ども時代にこのような体験を積むことは、子どもたちが大人になった時に次の世代に伝えるために必要な体験です。



木曾ヒノキ備林見学



8月12日(水)



加子母は94%が国有林に指定されており、国が管理をしています。これらの木は、伊勢神宮のご神木にも使われています。

この日は、国有林の中を歩きながら、ヒノキとサワラの見分け方を教えていただきました。そして、推定樹齢1000年の2代目大ヒノキや、2種類の木が1つになった合体木を見せていただきました。ヒノキとサワラが1つになった木を前に子どもたちは、自然の不思議に驚いていました。

「森の中のすべてのものが生きているから大切にしなければいけない」と教えていただいた子どもたちは、拾い集めた木の実や葉っぱを、大切に持ち帰っていました。

BBQ



8月12日(水)

今夏も岐阜県肉用牛協会さんと加子母肉牛生産組合さんから飛騨牛のご寄付をいただきました。この日は、至学館大学の女子硬式野球部の皆さんと一緒にBBQを楽しみました。焼けたお肉や焼きそばのいい匂いがバンガロー村に広がり、子どもたちは大興奮！！

「おいしい!」「おかわりー!」と、子どもたちはジューシーな飛騨牛をお腹いっぱいになるまでいただきました。

子どもたちは、たくさんの支援者に支えられていることを知り、ありがとうの気持ちでいっぱいになりました。



愛チカラのキャンプでは、子どもたちが自分の未来を想像できるように、職業体験を実施しています。

お父さんやお母さんと同じように“仕事”に挑戦し、日常生活の中では、なかなか体験することのできない“働く”ということを通して、子どもたちはお仕事のやりがいと達成感を感じ、ちょっぴり大人になりました。

職業体験



たなか野菜畑

ポットにトウモロコシの種をまく作業やトウモロコシの収穫の体験をしました。

甘くておいしいトウモロコシを作るには、小まめに手入れをし、たくさんの愛情を注いで作業することが、おいしさにつながることを学びました。



サークルK 恵那加子母店

店内の飲み物、アイスクリームの整理や補充などを体験しました。

新しいものを後ろにする事や、商品を見やすく取りやすいように並べる事など、お客様の事を考えた様々な工夫を体験し、学ぶことができました。





スーパー生鮮館 ショッピングプラザ アトラ

品出しや包装、シールを貼る作業を体験しました。

いつもはお客様として買い物をするのですが、この体験で、店員さんの、立ち仕事の大変さや、お客様の事を考えて細かいところまで気を配ることを学びました。



とまと屋かっちゃん

トマトの収穫やジュースボトルのラベル貼り、収穫から発送準備までの作業を体験しました。

工場での作業を経験したことで、真っ赤でおいしいトマトや、甘くて濃厚なトマトジュースがどのようにして私たちの手元に届いているのかを、学ぶことができました。



佐藤牧場

佐藤牧場では、牛への餌やりを体験しました。

牧場ではどんな作業も牛のいのちに関わります。

大きな牛を目の前に、最初は緊張していた子どもたちでしたが、一つひとつ丁寧に時間をかけて仕事をする事の大切さや大変さを学びました。



楽しい百姓 ファンファーミング 有限会社

野菜やブルーベリーなどの収穫を体験しました。収穫をする時に、植物を傷めないよう、丁寧に作業を行いました。

昨年のキャンプの職業体験で植えた花が咲いており、小さな種から大きく変化した花を見て植物の成長を感じました。





合唱 ～いのちのリレー～

8月14日（金）

戦後70年という節目の年と重なる今回のキャンプでは、改めて「いのち」の大切さについて考えるキャンプとなりました。

そこで、NHK 沖縄放送局で沖縄戦を語り継ぐ取り組みとして作られた、沖縄県出身の歌手 Kiroro とHY の仲宗根 泉さんによるユニット“サンゴ”が歌う「いのちのリレー」をキャンプのテーマソングとし、子どもたちと共に「いのち」について考えました。

「いのちって、なんだろう？」

その問いかけに、

「大切なもの」
「取り戻せないもの」
「いのちは、自分」

子どもたちからは、たくさんの言葉が返ってきました。

悲惨な戦争を必死で生き抜いて、いのちをつないでくれた先人がいてくれたからこそ今の私たちがいます。

「いのち」の大切さや尊さを胸に、子どもたちにはこれからも、たくましく生きていってほしいです。

震災を経験した子どもたちだからこそ、感じる事ができるたくさんの思いを、これからもつないでいってほしいと願っています。

いのちのリレー

作詞・作曲：玉城 千春 / 金城 綾乃 / 仲宗根 泉
編曲：亀田 誠治
唄：さんご（玉城 千春 / 金城 綾乃 / 仲宗根 泉）

ささや かぜ げつとう は
囁くような風が 月桃の葉をゆらす
あなたの笑顔に ありがとう
あ まえ ひび
当たり前の日々に ありがとう
そら にし かがや
空には虹が輝いて
でも それだけじゃ
ただ それだけじゃ
その瞳は何を描いてゆくの？
めぐ めぐ で あ いのち
巡り巡って 出会った命よ
あなたは私の全て
あなたの為に歌うよ
あの日と今との いのちのリレー
いろ あざ さ ほこ
色鮮やかにホラ 咲き誇れ
モノクロの写真が私に問いかける
「あなたは今幸せですか？」
あか うみ くる そら いろ ひと し
赤い海、黒い空の色をどれだけの人が知っていますか…？
でも 生きている そう ここにいる
たい せつ いのち つな
大切な命を繋いでいくよ
めぐ めぐ う いのち
巡り巡って 生まれた命よ
あなたは私の全て
あなたの為に歌うよ
わたしが語り継ぐ いのちのリレー
あの日をもう二度と 繰り返さないように
つな なみだ つな えがお
繋がる涙 繋がる笑顔
みらい はば たく かけはし
未来に羽ばたく架け橋になれ
み あ よ そら ほし たち
見上げた夜空の星達が
みち て
道しるべとなって照らしてるよ
あの日をもう二度と 繰り返さないように



日本音楽著作権協会（出）
許諾第 1511652-501



一般社団法人 aichikara
学生代表 石動 愛恵
至学館大学 3年

後世に“伝える”

この度も、皆さまの温かいご支援により、「子どもリフレッシュキャンプ 2015 夏」を無事に終了することができました。

この夏は晴天に恵まれ、自然があふれる加子母を中心に、子どもたちは思いっきり体を動かすことができました。

また、60人という大勢での共同生活の中で子どもたちは仲間と協力し合うことや、仲間を思いやる気持ちを学べたのではないかと思います。

今回のキャンプで行った合唱の「いのちのリレー」の歌詞の中には、戦争の時代を生き抜き、私たちへいのちをつないでくれた人たちの思いが込められています。

子どもたちは合唱を通し、いのちと向き合い、いのちの大切さを考えました。この国は、自然災害によってつらい思いをした人がたくさんいます。世界中では、争いによる被害が今も無くなることはありません。

そんな世の中ですが、未来をつくる子どもたちだからこそ、人々が平和に、元気に過ごしていけるよう、災害や戦争、テロなどの出来事だけでなく、いのちの大切さを後世に“伝える”ことができる人に育ててほしいと思います。

私たちは笑顔で、ひたむきで、パワーをくれる子どもたちが大好きです。これからも、子どもたちの笑顔や成長の歩みをサポートしていく所存です。

最後になりましたが、キャンプ開催にあたりご支援いただいた皆さまへ。この度は、未熟な私たちに思いを託してくださいましたことを、深く感謝申し上げます。皆さまの思いを受け取り、これからも子どもたちのために、力を注いでいきたいと思っております。

今後とも変わらぬご支援とご協力の程、よろしくお願いいたします。

Qichikara



We are
family ♡

Summer
2015



aichikara スタッフ紹介ページ

子ども隊

子ども隊は、子どもが安全に、楽しくキャンプを過ごせるよう、子どもの1番近くで生活を見守っています。さらに、子どもにとってこの愛チカラのリフレッシュキャンプが自立、成長の場になるよう、声かけと環境づくりを行いました。

子どもたちが友達と共にたくさんの経験をすることで、変わっていった表情や感情は、子どもたち一人ひとりが頑張った証です。



Member



子ども隊長
ぶどう
(至学館大学2年)

- ◎岩附 彩美 (ぶどう)
- ◎松本 結花 (まつも)
- ◎新田 桃子 (ぴーち)
- 石川 恵美子 (アロエ)
- 市川 彩果 (トレア)
- 大坪 夏海 (なっちゃん)
- 角井 千鶴 (つる)
- 桐林 明咲 (あさき)
- 楠生 謙太 (きゃちゃお)
- 久瀬 愛夏 (ししゃも)
- 坂本 優 (ゆう)
- 菅原 崇仁 (ゆーじ)
- 佃 奈波 (ラスク)
- 長崎 由加里 (マーチ)
- 中根 慶久 (じゃんじゃん)
- 西尾 尚也 (まちゃお)
- 彦坂 幸保 (いとこ)
- 古川 咲 (さき)
- 山口 真呼 (ロール)
- 山崎 優太 (ぱぱ)
- 山路 史華 (ぶーん)
- 吉田 海々 (みみ)
- ☆柴田 結実子 (はな)
- ☆保田 健志 (たけぼー)



子ども隊副隊長
ぴーち
(日本赤十字
豊田看護大学2年)

生活・備品隊



生活・備品隊は、元気に遊んだ子どもたちの衣服の洗濯、ご寄付でいただいた備品などの管理をしています。

また、子どもたちが生活する環境がいつも快適であるよう清掃や整理整頓に努めています。子どもたちはキャンプ中「お手伝いしたい!」「〇〇を貸してください!」など自分たちで考えて行動し、日々の成長を感じることができ、スタッフの私たちも嬉しくなりました。

Member



生活隊長
おいち
(至学館大学3年)

- ◎中村 美沙 (おいち)
- ◎二村 菜摘 (ニムニム)
- 河合 亜侑美 (カーリー)
- 河之口 祐司 (ごの一)
- 小笠原 佑奈 (ロベ)
- 梶野 真由 (ここ)
- 勝山 悠 (みやこ姉さん)
- 菊地 良介 (いっこく)
- 木村 菜葉 (ポップ)
- 高津 靖歩 (やっちゃん)
- 浜 かなみ (エアポ)
- 山口 皓士朗 (ふぐ)
- 山下 貴大 (ぴーやま)
- ☆大井 優子 (たま)
- 井谷 優太 (工場長)
- 片山 日香里 (ぴっかり)



備品隊長
ニムニム
(至学館大学2年)

食事隊

食事隊は、子どもたちの体調や企画、その日の天候によってメニューを考え、朝昼晩のご飯を手作りしています。子どもたちはご寄付でいただいたおいしいお野菜やお肉、お魚をふんだんに使ったご飯をモリモリ食べてキャンプを過ごすことができました。

また、子どもたちから「いつもおいしいご飯をありがとう!」「おいしいご飯のおかげで元気が出るよ!」というお手紙をたくさんもらいました。

子どもたちの笑い声と楽しそうに食卓を囲む姿が、私たち食事隊の心の栄養です!



Member



食事隊料理長
トッポ
(日本赤十字
豊田看護大学2年)

- ◎黒川 知香 (トッポ)
- ◎小澤 遼 (きゅうり)
- 石田 有紀 (おまつ)
- 伊藤 優希 (ゆうき)
- 大達 将司 (ペペ)
- 北澤 麻衣 (まいまい)
- 小池 真以 (まい)
- 清水 理沙 (りさ)
- 高見 祐衣 (ゆい)
- 谷田 亮太 (ガクト)
- 谷 美麗 (みれい)
- 寺西 美菜 (ポスト)
- 中根 一樹 (ベジータ)
- 長屋 亘 (六角)
- 丹羽 星 (りんりん)
- 丹羽 那菜 (にわな)
- 袴田 翔大 (あきぐち)
- 古田 有香 (べにまる)
- 前 詩苑 (しおん)
- 増田 彩花 (まふ)
- 村松 慶彦 (つよし)
- 山田 理沙子 (りさこ)
- 米坂 篤人 (ポテト)
- ☆東松 広岳 (トーマス)
- 小金沢 奈央 (なお)
- 佐藤 健太郎 (カーネル)
- 寺田 昌司 (だーたら)
- 宮崎 彰顕 (ざっきー)
- 森 涉 (シェフ)
- 吉岡 良記 (鉄人)

記録隊



記録隊は、子どもたちが元気に遊ぶ姿はもちろん、宿題に取り組む真剣な姿や、お手伝いを頑張る姿を撮影します。

今回から、水中カメラを新しく導入しました。子どもたちは、水中カメラで撮影する水の中の世界観に、興味津々でした！

環境に合わせて撮る角度や色合いを工夫し、子どもたちの輝く笑顔を皆さんにお届けしたいという思いで写真を撮りました。

一瞬のシャッターチャンスを見逃さず、その時の子どもたちの様子が伝わる写真が撮れるよう努めました。



記録隊長
すずみ
(日本赤十字
豊田看護大学3年)

Member

◎北角 沙也香(すみ) 中村 咲里亜(あさり) 成瀬 智子(ちょこ) ☆山本 祐里(ゆりい)
相岡 拓己(ディッシュ) 中村 桃子(ももこ) 犬飼 菜江(なえびよん) 山下 賢悟(けんちゃんマン)

保健衛生隊

保健衛生隊は、子どもたちの健康や衛生管理をする役割と、保健室の運営を行っています。

子どもたちの健康のため、毎日の健康チェックで気になる子がいたら、声をかけ、また病気の子の服薬の管理をし、心と体の両面から子どもたちをサポートしています。

今回のキャンプでは、熱中症や虫刺され、トビヒの予防を自らできるように子どもたちと共に考え対策を取りました。



保健隊長
しゅり
(日本赤十字
豊田看護大学3年)

Member

◎吉田 朱里(しゅり) 蟻川 奈央(ありちゃん) 古川 真悠子(しんば) ☆太田 純子(じゅんちゃん)
○小山 千晴(トトロ) 石黒 文香(まっこ) 森本 麻友(ちよりん) 高倉 彩奈重(さな)
浅井 麻里子(ぎりす) 加藤 彩樺(ぶりてい)

キャンプ隊・事務局

キャンプ隊は、全体のスケジュールとスタッフの管理、車の配車の調整や事務局などキャンプの企画・運営に関わることに携わっています。

子どもたちはもちろん、ご家族、ボランティアの方から「参加してよかった！」という言葉と笑顔に、このキャンプを開催してよかったとあらためて感じることができました。



キャンプ隊副隊長
サイド
(名古屋大学2年)

Member

◎石動 愛恵(じゅりー) 朝日 唯(きゅー) ☆石原 杏莉(あんちゃん)
○今瀬 美里(サイド) ☆石原 なる美(みんみん)
☆中村 豊(大道具)

◎…学生隊長 ○…学生副隊長 ☆…社会人リーダー

社会人サポーター

石原 広道(みんぱ)	篠田 一彦(だーひこ)	沼田 真由み(マナマナ)	福島 勉(名人)	横倉 亜美(あみい)
大島 巧(おじサンタ)	鈴木 健太(すすけん)	野田 実里(のだみ)	松浦 真也	横倉 文子
小林 明日香(くろ)	高嶋 辰宜(たっつん)	樋口 一則(お父ちゃん)	御堂 大貴(だいだい)	吉村 郁乃(のぎー)
佐藤 匠(息子)	中谷 真由子(まゆこんぐ)	樋口 菊代(きくさん)	望月 美紗貴(ちゃー)	吉村 康範(よっしー)
志治 友規(なんなん)	中村 浩(カーニバル)	平田 大援(やったー)	矢野 江里(えりーぜ)	若尾 僚彦

一般ボランティアの皆さま

明石 林子	加藤 敦子	古宇田 陽子	坪井 健一郎	鼻笛演奏家 モスリン	諸喜田 克也
荒居 清春	神谷 利美子	小島 鈴香	中野 回里	平野 はるみ	尹 錦子
磯部 紀余	神谷 尚美	児玉 小百合	長山 満美江	牧 三喜	横山 直樹
井戸 美智代	菊谷 敦子	佐野 きみ子	夏目 孝子	水野 綾乃	牧田 久美
犬飼 知子	岸田 裕一	下村 小夜子	夏目こころ	水野 咲希	横山 正美
岩田 美由紀	岸田 里子	鈴木 真貴	野崎 紀子	宮島 恵	
加藤 崇士	木村 康直	多賀 元宏	橋本 千草	村元 聡美	
加藤 友英	久野 文子	都築 秀和	幡 和博	megri 月ちゃん	

Special Thanks

早川 捷也(岐阜県議会議員)
熊澤 茂(バンガロー村 村長)
鬼頭 孝幸(和太鼓 志多ら)
桜井 登也(笑顔の写真屋さん)
迫田 栄治
久野 和美
堀江 智哉

ご協力者より



愛チカラサポーター
学校法人 至学館大学
理事長・学長 谷岡 郁子

ありがとう、愛チカラ

3・11から4年半。5年目に入って「まだやっているの？」という雰囲気も強くなってきていると思います。そうです、まだやっているのです。

あの地震、原発事故当時中学生であったような若者たちが原発事故被災地帯の子どもたちのために働いているのです。もう4年半だけど、まだ4年半であることを知っているから。チェルノブイリの被災が深刻化したのは4年目以降であつとことも知っているから。

歴史は流れて記憶から消え去っていくものというものが日本的な考え方かもしれません。でも歴史は積み重なっていくもので負の遺産や歪みと格闘し続ける必要があると考える国も多いのです。日本とドイツの第2次大戦中のでき事に対する違いはこの辺りにあるかもしれません。

だからまだやっている若者たち、がんばれ！そしてありがとう。



愛チカラサポーター
株式会社 中島工務店
代表取締役 中島 紀子

今年も福島の子どもたちが来た。60人程。もう5回目の夏。加子母の年中行事になった。トマトの俊一おじいちゃんも、とうもろこしの心平おじさんも、バンガロー村の茂村長も皆も来るのを待っていた。

福崎バンガロー村と渡合キャンプ村は楽しかったかな。夜空の星はきれいだったかな。朝の霧は気持ちよかったかな。クワガタやカブトは獲れたかな。川遊びは出来たかな。お兄さん、お姉さんたちの作ってくれる料理は美味しかったかな。

今年の夏は良い天気でもとても暑かったので、大いに加子母の夏を楽しんで貰えたと思う。親元を離れた子どもたちは友達と寝起きを共にして大いに遊び、大いに学んだと思う。

お別れの時、ずっとここに住みたいと言った子が大勢いた。ずっとここに住まなくても毎年夏と冬に加子母に来て、親元を離れ、子どもたちだけの生活から自立独立の精神を培って、強くなってくれれば良い。スタッフの学生さんも、人のために一所懸命になる事の意義と喜びを身に付けてくれれば良い。

来年もまた元気な顔を見せてくれるのを加子母の皆、楽しみに待っています。

共催者、主催者より



Photo by 桜井登也

福島県出身
コンテンポラリーダンサー
BODY ATELIER MANAMANA
主宰 沼田 眞由み

子どもリフレッシュキャンプ 2015 夏が無事に終了いたしました。

今回のキャンプで取り組んだテーマが“生命”でありました。阪神淡路大震災から20年 戦後70年“命”の大切さを問う、メモリアルな年に、あえて人間のいとなみの基本“命”に向き合うキャンプを企画した学生スタッフたちは東日本大震災の記憶の風化を感じ、世界中で起こる、自然災害、人災の警鐘を敏感に感じ取り難しいテーマに果敢に取り組みました。苦悩と苦闘の日々を送りながら日に日に成長する学生スタッフの姿と、それに呼応するように急速に対応力を身に付ける福島の子どもたち。まさに、生きる力～生“命”力～をつかみ取る現場が、今回のキャンプには、存在しておりました。福島の子どもたちの弾ける笑顔と成長が確実に存在したことをご報告させていただきます。

最後になりましたが、今回のキャンプ事業にご協力いただきました全ての皆様に厚く御礼申しあげたいと存じます。ありがとうございました。



一般社団法人 aichikara
代表理事 石原 杏莉

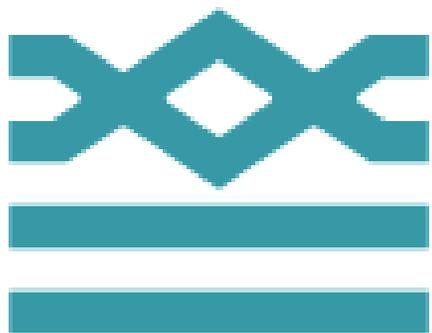
この度も、リフレッシュキャンプが無事終了しましたことを、ここに報告いたします。今夏は、過去の戦争や災害などから、大きな節目の年ということもあり「生命」をテーマに開催いたしました。このテーマを選んだ時、若輩者の私たちにはあまりにも大きなテーマであったこと、そして、この活動を続けていく難しさを、原発の再稼働や憲法改正を軸とした社会の流れとともに、肌で感じてきました。

当法人のこのリフレッシュキャンプも今夏で9回目のキャンプとなり、のべ550人以上の福島っ子のサポートを行って参りましたが、被災地ではまだまだ沢山のサポートが必要とされています。これから先、被災地は更に目には見えにくい復興への日々を歩いていくことになるでしょう。戦後、先人が1日も早い日本の復興を目指したように、あとに続く私たちが子どもたちの道標となっていけるよう日々の活動に力を注いでいく所存です。

最後になりましたが、ご支援いただきました皆さまに、心より御礼を申し上げますとともに、引き続きのご支援を、重ねてお願い申し上げます。

PLATINUM SUPPORTER

※敬称略・順不同



至学館大学



株式会社 中島工務店

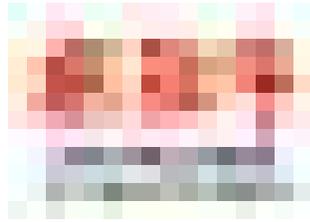


ISOWA®



GOLD SUPPORTER

※敬称略・順不同



多治見ライオンズクラブ



ぐるぐるマーケットで
お世話になった作家さん

あつまり処
わのや



希望の架け橋
実行委員会

リゾートトラスト株式会社

空色曲玉
オーガニックカフェ & ギャラリー

3.11 を忘れない大府実行委員会



医療法人
広川レディースクリニック

東北支援グループ本山

ラスティバーミンツ
コンサート実行委員会



赤坂溜池クリニック
(一社) コミュニティ・
カウンセラー・ネットワーク
代表 田中 純

(株) 布土精肉店
肉の藤銀 布土支店

愛恵
株式会社



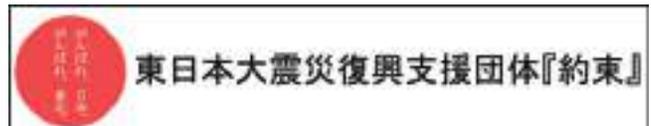
株式会社 清心社
代表取締役社長 小橋 忠直

農産物直売所
市・ござらっせの会



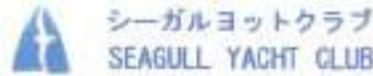
紙文総合販売株式会社

oribe オリベ会計事務所



SILVER SUPPORTER

※敬称略・順不同



■団体協力

愛知学院大学地域連携センター
オアシス21

オーガニックファーマーズ朝市村
表山学区民生委員 児童委員協議会
株式会社 イシカワ
株式会社 八木澤商店
ふみこデンタルクリニック
学校法人大谷学園 みちる幼稚園
有限会社 飯田商店
有限会社 エイティング
有限会社 早川産業

織工房 megri
熊崎畜産
佐藤牧場
合資会社 JJHD
地藏寿司
空と花
たなか野菜畑
鶴舞健康院
とまと屋かっちゃん
道の駅 かしも
南区 混合バレーボール大会

衣浦ヨットクラブ
サークルK 恵那加子母店
楽しい百姓
ファンファームিং有限会社
ドラムサークル TOMODO
大府市健耕サポーター
木の山彩エンス農園
富貴ヨットハーバー所属のルパン号
株式会社 サラダコスモ

■個人協力

飯田 美紀恵
石野 美登里
大西 直美
遠山 洋子
瀬瀬 俊一
感染管理認定看護師

後藤 伸子
酒井 康成
柴田 浩一郎 信子 結希子
茶畑 和也
坪井 香利
中谷 勝

橋口 慶仁
村田 祐一郎
森 晶
矢田 ゆかり
山岡 美子
横田 和弘

吉留 明美
一般社団法人
AED 日本振興協会 久田 錠治
人間環境大学 朝山 正己
東浦吹奏楽団 中野 美子
美浜グリーンサービス 谷川 喜信

BRONZE SUPPORTER

※敬称略・順不同

■団体協力

愛農流通センター／株式会社 オリジナル農家／株式会社 カンキョー／海音／株式会社 創健社
株式会社 ダイシンエッグ／株式会社 メニコン／かねいま食品／こころのランプ ナオスケ
天然温泉 うめの湯／山下電器／有限会社 青山／有限会社 花井養鶏場／有限会社 プラネット
アースデイ 名古屋／Fish on／NPO 法人 アクティブシニアネットせと／教西寺

■個人協力

愛知県看護協会 知多地区支部 看護課長 荒井 和美／家田 奈々／石原 由紀子／磯部 育男 和美／磯部 政成
伊藤 友子／伊藤 智久／大岩 太一／太田 クニ子／太田 すみ／おなかに幸せ 東風谷 若尾 信也／加藤 美智子
久保田 たける／榊原 郁子／佐々木／佐々木 裕子／佐藤 弘子／美浜町社会福祉協議会（ボランティアセン
ター） 櫻井 悟／須賀 和彰／鈴木 澄恵／鈴木 留美／誓海寺／高木 雅成／高塚 和江／田中 芙弥佳／筒井
九十九の里 榊原 繁雄／内藤 勝／永田 清佳／内村 菜知子／西尾 尚生 薫／二継 都／二村 玲子／丹羽 茂男
野尻 孝三／橋田 俊平／八田 良二／林 徳子／東出 洋子／平塚 留美子／御堂 和貴／村田 きみゑ／神野 悦夫
百合草 三夫／尹 錦子／横山 直樹／牧田 久美／吉兼 拓朗／吉兼 洋子／吉田 裕子／勢刀 真弓

募金箱のご協力

コメダ珈琲店 名高山店／コメダ珈琲店 桜通大津店／コメダ珈琲店 名古屋駅西店／コメダ珈琲店 栄四丁目店／コメダ珈琲店 錦三丁目店／コメダ珈琲店 納屋橋店／コメダ珈琲店 御園店／コメダ珈琲店 広小路店／コメダ珈琲店 梅森台店／コメダ珈琲店 江南村久野店／コメダ珈琲店 覚王山店／コメダ珈琲店 西高蔵店／カーブス亀山エコー／カーブスアピタ伊賀上野店／カーブスイオン久居／紙文総合販売株式会社／(株) L.O.K / 東芝シュネデール・インバータ労働組合／小春日和／秋葉工務店／パンダ食堂／みやした接骨院／有限会社ビューティサロンシバタ／合資会社犬山クリーニング本店／名古屋市立大学生生活協同組合 川澄店／株式会社 常盤機工／へんてこりんっ！／喫茶ぶりこ／鉄板ダイニング 向日葵／本格焼酎 Bar リー／きさちゃん帝国／ABEAM／お好み焼き 伊東屋／麵屋りょうま 櫻堂／DREAMS / 一般社団法人 日本メンタルバランス協会／株式会社 元氣玉／バレエショップマアナ／珈琲元年 清須店／居酒屋 はやかわ／株式会社 ツーリスト中部／コーヒーレストラン 田園／東山珈琲館／六句の蔵ちゃん／まんぷく太郎 中之郷店／支留比亞珈琲 春日店／いずみピンチョ／株式会社 ヤマト／キューコーポレーション／WINE9／なんや／株式会社あさくま／トラットリア リッカリーナ／グリーンフィールド 名高山／天空のうさぎ／福の介／琉球ダイニング 花花 鈴鹿店／居酒屋 銀の豚／海の台所 鱈屋／ヴォーノイタリア大府店／しゃぶしゃぶ太郎 有松店／中国料理 しのわ／マルヤ飯店／(有) お多福／楽食酒房 おかめ／おがさわら療院／いなかや／インパール／居酒屋 お馬のおやこ／ファーストフロア／焼肉 栄養亭／(資) 互楽亭／キッチン Mo-Mo- / ウェルスプリング ウィメンズクリニック／VAN COUNCIL 稲沢店／VAN COUNCIL 津島店／VAN COUNCIL 大府店／Good Morning UNITE / Good Morning PRIME / (有) マルトー食品／あぶりや 鈴鹿店／(株) 大丸 星崎店／美容室 Y's / 菓蔵／ながね接骨院／松はま株式会社 すたみなバイキング吹上店／平田技研／わかば接骨院／(株) スタミナ大将／有限会社 春水堂／Mono-Honey eyes / café dining LiLii park / 株式会社ベスト企画／かき氷屋川久／半平や／キャッスルプラザ／アマリタ／北海道 直売所よってって！／魔女の部屋 anje BLACK / Cinq Etoiles / HELLO KID ハンバーグ&ステーキレストラン / Gira Gira / フィレンツェ高畑本店 / ばば天 / 山海堂調剤薬局 / Sunday clothes / 山田歯科医院 / (有) レストラン・とんま / 飲飲 / SUSHI DINING とんぼ / ミニミニ大府店 / 居酒屋 大笑 / 風来坊 赤池店 / BAR. Banana Bird / バル de 窯 / Hiding place 9 kyu / 株式会社 ピース・ヴィレッジ / 奥平歯科診療所 / うるおうアイスクリーム RONO / 中京大学生生活協同組合 / いけむら接骨院 / 仏壇の大野屋 / 建部歯科クリニック / はせ川 / 炭火焼肉ホルモン雄 / はかたもんラーメン / こめまる本舗 / おばちゃん ショップやまと / 支留比亞珈琲 半田 ニッ坂店 / カラオケ喫茶 ブーケンビリア / tonecafe / コメダ珈琲店 豊田新本町店 / コメダ珈琲店 豊田梅坪店 / 足もみサロン ハラフワティ / 御菓子司 両口屋 / スバカマナ豊田店 / 猿 café 豊田店 / (有) ナクア 穂がらか T-FACE

〈Special Thanks〉

 **OGIYA GROUP**
株式会社 大木家

※敬称略・順不同

街頭募金



当法人では、この度もキャンプ前の2ヶ月間、週末にスタッフが街頭に立ち、街頭募金を実施しました。

今回の街頭募金は、週末は名古屋市内の街で、平日は授業後に豊田市駅と大府駅の前で行いました。

街頭募金は、自分たちの言葉で、キャンプの必要性や福島の子どものことを街の方々に直接お伝えする貴重な機会です。

しかし一方で、今回の街頭募金は、東日本大震災から4年半という月日が経ち、時間の経過とともに世界中でたくさんの自然災害が起こっている中で、求められている支援の優先度や、今後の街頭募金の在り方が問われている現状を感じる場ともなりました。

それでも、街中のたくさんの方々に温かいお気持ちを託していただき2ヶ月間で**1,210,321円**の募金が集まりました！

私たちの活動に賛同していただき、ご支援ご協力いただいた全ての皆さまに心より感謝申し上げます。

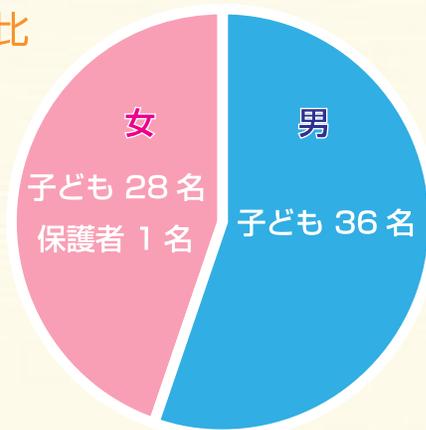


参加者内訳

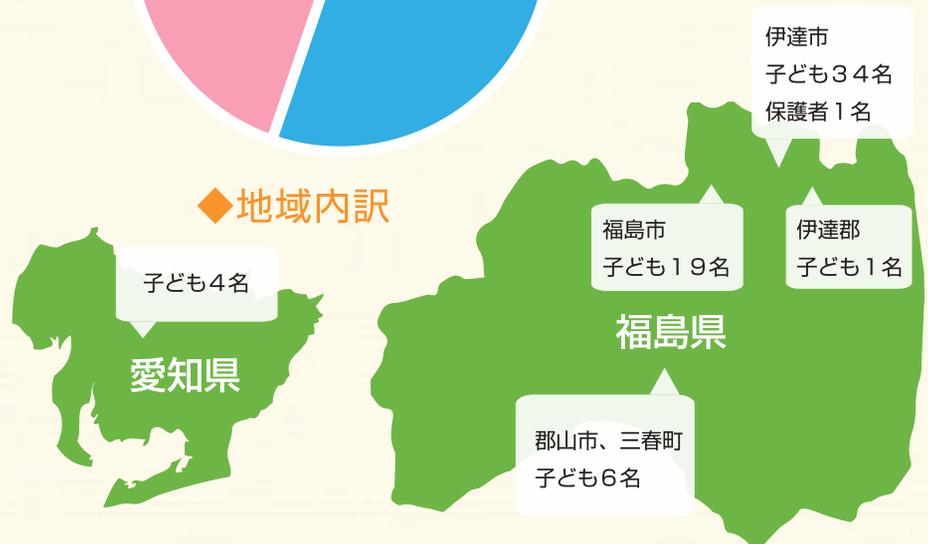
◆学年比

幼児	年長	1人
小学生	1年生	9人
	2年生	8人
	3年生	10人
	4年生	10人
	5年生	11人
	6年生	11人
中学生	4人	
合計	64人	

◆男女比



◆地域内訳



会計報告

◆収入	キャンプ参加費	キャンプ参加費	1,455,074円
	寄付金	2015年1月～9月の寄付金	2,346,430円
	募金箱	2015年1月～9月の募金箱	379,483円
	街頭募金	2015年5月～7月までの街頭募金	1,210,321円
	助成金	中央共同募金会、ふくしまキッズ夢サポート	2,890,000円
	補助金	伊達市	962,889円
	その他	イベント収入等	423,275円
		合計	9,667,472円

◆支出	食料	キャンプ食材、弁当代等	796,246円
	リース料	レンタカー、布団代	692,412円
	接待交際費	お土産代等	70,021円
	旅費交通費	新幹線・バス代、ガソリン代、高速代等	2,328,191円
	保険料	イベント保険、国内旅行保険	119,156円
	修繕費	プリンター、冷蔵庫等	44,982円
	水道光熱費	ガス代	7,020円
	消耗品費	日常生活・企画等の備品消耗品	1,140,208円
	租税公課	収入印紙、自動車税等	64,800円
	通信費	郵送費、切手、運賃等	76,571円
	施設利用料	事前説明会、キャンプ利用施設、入浴等	1,107,282円
	印刷費	コピー代、チラシ他	103,810円
	謝金	講師、バス運転手等	286,600円
	雑費	コインランドリー、銀行手数料等	196,073円

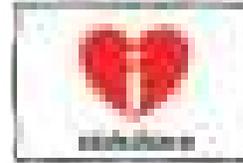
◆積立	積立金	2,634,100円
	合計	9,667,472円

主催

一般社団法人 aichikara

共催

BODY ATELIER MANAMANA



THE
BODY
ATELIER
MANAMANA

カラダのアトリエ・マナマナ

後援

愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会 岐阜県 岐阜県教育委員会
岐阜県中津川市 中津川市教育委員会 福島県 福島県教育委員会
福島県福島市教育委員会 福島県市長会 福島県町村会 福島県伊達市
福島県伊達市教育委員会 中部森林管理局東濃森林管理署 中日新聞社
朝日新聞社

協力機関

至学館大学・至学館大学短期大学部 加子母総合事務所 株式会社 中島工務店
岐阜県中津川市立加子母小学校 ランプの宿 付知峡渡合温泉 松川学習センター
一般財団法人付知町復興公社 付知峡倉屋温泉 おんぼいの湯 アースシップ
フィールドデー

宿泊施設

福崎バンガロー村 ふれあいのやかた かしも
渡合ランプ村 全忠寺



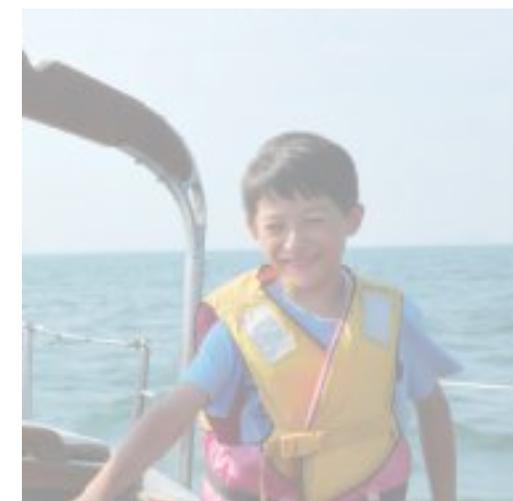
助成団体



この報告書は、国立国会図書館
東日本大震災アーカイブプロジェクトに協力しています。



いのちのリレー 合唱映像



YouTubeでもご覧いただけます。

いのちのリレー aichikara 🔍



発行日 2015年10月27日

発行 一般社団法人 aichikara

責任者 石原 杏莉 (代表理事)

事務局 朝日 唯、成瀬 智子、梶野 真由、石原 なる美、大井 優子、山本 祐里

編集 石動 愛恵、市川 彩果、河合 亜侑美、高津 靖歩、中村 咲里亜、中村 美沙

〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須2-26-28 アイランド大須 1 階

TEL : 050-5898-6896 FAX : 052-308-8910

E-mail : info@ai-chikara.com

HP : <http://www.step-aichikara.com/>

